

■山際七司 政治家。新潟県を足場に反骨精神旺盛な自由民権家となり、将来を期待されたが、早世した。

やまぎわしちし

北齋没・・・1849＝ 越後国蒲原郡木場村で、庄屋格豪農山際郡司の長男に生まれる。母はかほる。

ペリー来航・1853＝ 4歳：

五ヶ国条約・1858＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝11歳：

幼時，遠藤朝陽に漢学を学び，

大政奉還・・・1867＝18歳：

明治維新・・・1868＝19歳：

<戊辰戦争>に際し郷勇団に加わり，幕府方の米沢藩軍に従い転戦する。

父は大河津分水工用弁掛として工事推進に当り，

初の日刊新聞1870＝21歳：父が死去して，家督を相続し，庄屋，大河津分水工用弁掛となる。

東京に遊学して，

学問のすすめ1872＝23歳：この頃から，_イギリス流の立憲主義に関心を寄せるようになり，

明治6年政変 1873＝24歳：

帰郷すると，

初の民間工場1875＝26歳：この年，大河津分水工事が中止となる。

三つの内乱・1876＝27歳：新潟汽船会社を開業するが，

失敗に帰し，

大久保暗殺・1878＝29歳：*新潟に{自立社}を設立し，雑誌「喚醒」を発行して，思想的啓蒙運動を起こした。

沖縄県編入・1879＝30歳：県会議員に選ばれ，県の失政を痛罵して政界に認められた。

・・・1880＝31歳：_千葉県桜井静の要請を契機に，下院重視の「大日本国会法草案」を構想，同志数千を集めて国会期成同盟会

に走り，越後の総代となって元老院に建白書を提出した。

明治14年政変1881＝32歳：*西園寺公望・松田正久らと{東洋自由新聞}を創刊。自由党結成に加わって幹事に選ばれ，

新体詩抄・・・1882＝33歳：新潟県で北辰自由党を組織して党首となる。

岩倉具視没・1883＝34歳：_新潟県の自由党弾圧を狙った<高田事件>に連座して投獄され，

内閣発足・・・1885＝36歳：_<大阪事件>に連座して禁錮2年となるも，

国民之友始・1887＝38歳：_いずれも無罪で，釈放後上京したが，保安条例の発布により東京を追放され，郷里へ帰る。

初の対等条約1888＝39歳：_後藤象二郎の大同団結に共鳴して同志を糾合し，政府の条約改正に反対して活躍した。

帝国憲法発布1889＝40歳：_{越佐同盟会}を組織して理事長に推され，{東北日報}を発刊し，新潟で{東北十五州会}を開催。

帝国議会始・1890＝41歳：*第1回総選挙で衆院議員に当選，上越出身の自由党の鈴木昌司とともに県民から将来を期待されたが，

大津事件・・・1891＝42歳：脾臓肥大症で_没した。